

鬼北町精神保健ボランティアグループ「つつじ」が結成されました!

平成17年10月6日、鬼北町総合福祉センター「ひまわり」において、鬼北町精神保健ボランティアグループ「つつじ」の設立総会が開催されました。

ボランティアグループ「つつじ」は、平成16年度に開講された広見町精神保健ボランティア講座修了生16人によって結成されたものです。同講座修了式の後、精神保健ボランティアグループ結成の話が持ち上がり、グループ結成にむけて平成17年1月から9月まで、8回の設立準備委員会および2回の先進地視察研修を行うなど積極的な取り組みが行われてきました。

ボランティアグループ「つつじ」では、今年度の事業として、定例会（第1月曜日）の開催、鬼北町保健福祉課が実施する精神保健事業や宇和島保健所・正光会宇和島病院の行事への参加を予定しています。

これからの取り組みとして、地域性や自分の得意分野を生かしながら、また楽しみながらできる精神保健ボランティア活動を目指し、仲間の輪を広げていく予定です。



精神保健ボランティア講座



地域における精神障害者の理解を深め、地域で共に暮らしていける町づくりを目指して、平成17年度も、鬼北町と鬼北町社会福祉協議会の共催で9月から12月まで開催しました。

37人の受講生の皆さんが、心の病気を理解し地域で支え合っていくために、正光会宇和島病院の先生の話を書いたり、病院や精神障害者社会復帰施設の視察研修をしたり、わかば作業所での実習も含め熱心に受講されました。

精神障害者の社会的入院（入院の必要がなくなっても、退院後に住む場所がなかったり、医療福祉サービスが不十分なため、入院生活を続けざるを得ない状態）が問題となっています。退院して地域で共に生活するためには、こころの病気を正しく理解し、支えあって生きるという地域の力と、社会復帰施設の整備が必要です。その第一歩としての精神保健ボランティア講座ですが、17年度講座終了後、ボランティアグループに入って活動したいという方が数人ありました。

平成18年度も講座を開催する予定ですので、みなさん是非受講してください。